

作成日：2021年1月14日（第5版）

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年5月 福島県立医科大学医学部消化器内科学講座
講座主任 大平 弘正

【研究課題名】炎症性腸疾患の病勢と脾臓体積の関連についての病態調査

【研究期間】平成29年5月～令和4年4月

【研究の意義・目的】炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎とクローン病）の患者数は年々増加しており、厚生労働省の特定疾患の中でも数が多い疾患です。2013年度の潰瘍性大腸炎は15万件を超え、クローン病は3万9千件を超えています。炎症性腸疾患の発症や増悪機序等は遺伝学的要因や環境要因などが関与していると考えられていますが、詳細は不明です。今まで当科の入院・外来診療を含めた症例は潰瘍性大腸炎約110例、クローン病約60例です。病勢評価目的で施行されるCT (Computed tomography) で腸炎以外に脾腫を指摘されることが多く、一般に脾腫は門脈圧亢進症や血液疾患、代謝異常、感染性疾患で見られます。脾臓はリンパ組織が集合し、免疫と深く関与していると考えられています。今まで脾臓の大きさの評価は超音波内視鏡検査による長径×短径 (cm) による spleen index で評価されていました (正常は40cm²以下)。しかし、観察者の技量や脾臓の厚みの評価、患者の腸管ガス等の影響が大きく、客観的なデータを得ることが難しいと考えられます。過去の報告では再現性に欠ける超音波内視鏡検査や手術中の術者の手による脾臓サイズ測定が行われ、クローン病と関連は低いとされてきました (Disease of the Colon & Rectum 30(1987)、Quarterly Journal of Medicine 86(1993))。近年、画像解析の software imageJ を使用することで、正確な脾臓体積を評価することができるようになりました (日本人の平均脾臓体積は127.4±62.9cm³, European J Rad 75(2010))。炎症性腸疾患患者の脾臓体積を客観的に測定することで、潰瘍性大腸炎の重症度を表す Mayo スコア、クローン病の重症度を表す CDAI スケール、炎症、栄養状態との関連を明確にすることができると考えられます。また比較対象群として、脾臓体積に影響が少ないと考えられる膵嚢胞で当科外来受診されている volunteer より、過去のCTから脾臓体積を測定させていただき比較検討します。今後、炎症性腸疾患と脾臓の関係が明らかになることで、腸炎と免疫反応の関連解明の手掛かりになりうると考えられます。

【研究の対象となる方】

2009年1月から2022年4月に当科または福島関連病院（太田西ノ内病院）でCTを施行された炎症性腸疾患患者の方、また比較対象群（膵疾患患者の方）となります。

【研究の方法】

（1）手順・相互関係図

「上記対象者」を選定。

↓
CT画像から脾臓体積を測定・データを記載（内視鏡所見, 年齢, 性別, BMI, 体表面積, 末血, AST, ALT, Alb, TB, PT, 赤沈, CRP, 脾臓体積）

↓
統計を用いてデータ詳細に解析

↓
学会・論文にて報告予定

【研究組織、研究機関名】

研究責任者（所属） 消化器内科学講座（職） 教授（氏名） 大平弘正
主任研究者（所属） 消化器内科学講座（職） 助手（氏名） 川島一公
研究分担者（所属） 消化器内科学講座（職） 助教（氏名） 鈴木玲
研究分担者（所属） 消化器内科学講座（職） 助教（氏名） 杉本充
研究分担者（所属） 消化器内科学講座（職） 助教（氏名） 鬼澤道夫
研究分担者（所属） 消化器内科学講座（職） 助手（氏名） 郡司直彦
研究分担者（所属） 太田西の内病院・消化器内科（職） 部長（氏名） 今村秀道
研究分担者（所属） 公立岩瀬病院・消化器内科（職） 部長（氏名） 片倉響子
研究分担者（所属） 大原総合病院・消化器内科（職） 部長（氏名） 藤原達雄

【他の機関等への試料等の提供について】

なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 川島一公

電話: 024-547-1202 FAX: 024-547-2055

E-mail: d04120@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 川島一公
電話:024-547-1202 FAX: 024-547-2055
E-mail:d04120@fmu.ac.jp